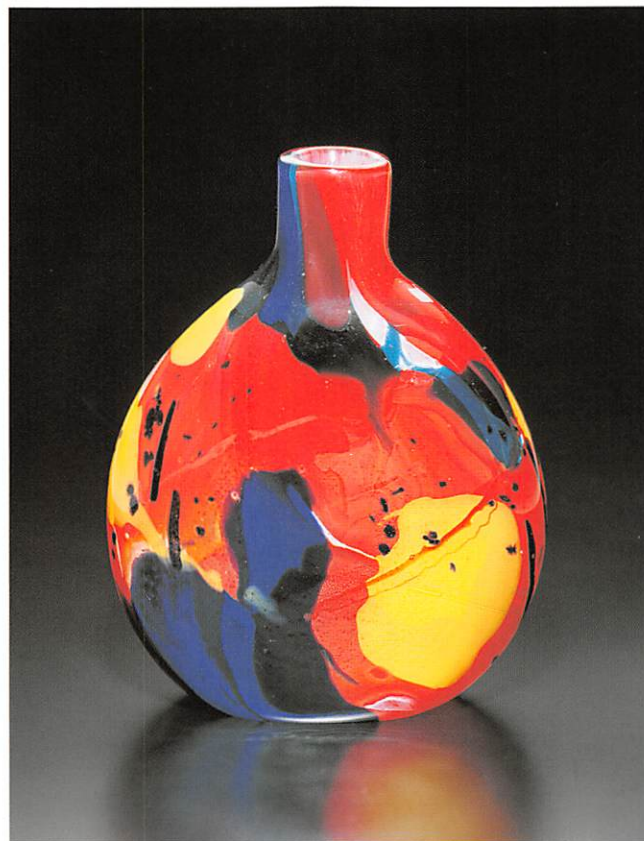


アルテピア

社団法人 北海道美術館協力会

札幌市中央区北2条西17丁目 TEL・FAX 011-644-4025
ホームページアドレス <http://www.artepia.or.jp>



岩田藤七「花器」

1966年頃、ガラス/宙吹き、奥行9.9cm×幅29.5cm×高37.3cm（北海道立近代美術館蔵）

日本のガラス工芸界の草分け岩田藤七（1893-1980）は、透明、半透明、不透明の色ガラスを多用して、無色透明のガラス一般のイメージを覆す独創的な表現を築いてきました。中でもこの花器は、赤、黄、紺などの強烈な色彩が大ぶりの器の上に入り乱れ、迫力にあふれています。「心象の内奥の襞（ひだ）の一つ一つを線または点で形態づけていく仕事こそ私の主要目的」と自ら語るように、ガラス工芸の枠にとらわれない純粹芸術を希求した藤七。この作品も、あたかも器をキャンバスとした抽象絵画のようです。

実は、この作品とよく似た表現が1950年代のイタリアのガラスにもみられます。おそらく藤七はそれを知っ

ていたのではないのでしょうか。けれどもイタリアの作品には、しばしば花状のモザイク片や繊細なレースガラス棒などが含まれており、絵画的な表現をねらいながらも、工芸的なテクニックを駆使した繊細さが勝っているように見えます。それに比べると藤七の作品は、荒削りながらも、思い切り良く配置された大きなガラス片が溶け合うダイナミズムに満ち、例えるならば、のびのびと絵筆をふるっている感じです。純粹芸術への熱い想いと、ガラスならではの表現が見事に融合した1点です。

（この作品は、9月3日～12月4日開催の「岩田藤七のガラス」展に出品の予定です。）

（北海道立近代美術館学芸員 苫名 直子）

カッセル グリム兄弟博物館所蔵

グリム兄弟展

北海道立旭川美術館 学芸員 村山 史歩



「グリム兄弟の肖像」1843年
ルートヴィヒ・エーミール・グリム

「赤ずきん」「ヘンゼルとグレーテル」「シンデレラ（灰かぶり）」「白雪姫」「フレイメンの音楽隊」「ハーメルンの笛吹き男」……。おそろく、誰もが子どもの頃に一度は読んだことのある物語なのではないでしょうか。これらは、すべてグリム童話におさめられたもの。題名だけではピンとこなくても、話の内容を聞けば思い出すという人も多いかもしれません。

ところで、皆さんはグリム童話がどのように作られたのかご存知ですか？グリム兄弟が創作した物語集だと思っはいいないでしょうか？そのように誤解をしている人も多いと思いますが、じつは違います。

グリム童話とは、ヤーコプ（一七八五—一八六三）とウィルヘルム（一七八六—一八五九）のグリム兄弟がドイツ各地に古くから伝わる民話を聞き取ったり、古い書物に記されていた物語を集めたりして体系的にまとめたメルヒェン集のこと。兄弟は作家のように思われがちですが、二人はもともとドイツでは有名な学者で、兄は言語学、弟は古代ゲルマン文学を研究していました。日本ではあまり知られていませんが、彼らが編纂に携わった『ドイツ語辞典』はドイツ国内では大きな業績として認められていますし、このほかにも民俗学、法律学、歴史学、神話学など広範囲を研究して、近現



「星の銀貨」1882年
ヴィクトール・パウル・モーン

代の口承文学、ゲルマン語学、宗教学などに影響を与えたことで高く評価されています。グリム童話は、このような兄弟の幅広い興味にもとづく研究過程のなかから誕生したものでした。では、グリム童話が最初に出版されたのはいつ頃だと思えますか？答えは、一九世紀初頭。はじめは八四話と四つの断片で構成され、

『グリム兄弟によって集められた子どもと家庭のメルヒェン集』（全二巻）という題名で出版されました（一八一二年に第一巻、一八一五年に第二巻が出版）。当時は挿絵もなく飾り気のない本でしたが、ドイツ国内で評判が高まり版を重ねるにつれて、挿絵入りの本や絵画などが数多く作られるようになったといえます。



「いばら姫」1836年
オイゲン・ナポレオン・ノイロイター



「カエルの王様」1900年
ウォルター・クレーン

なお、現在私たちが親しんでいる童話集のかたちになったのは、第七版目から。新たに物語が付け加えられたりした結果、初版の倍以上の二一〇話が収められた構成になりました。そして、今では一六〇以上の言語に翻訳されて、日本でもちろんのこと、世界中の人々に親しまれているのです。

この展覧会では、初版から後年の版までさまざまなグリム童話や童話にまつわる資料を展示します。それらを順に見てゆくと、版を重ねるごとに挿絵や装飾が増え、ヴァリエーション豊かになってゆくのがわかることと思います。とくに、童話に添えられた挿絵の数々は本展の見所のひとつで、兄弟の弟で画家のエーミール・グリムの作にはじまり、二〇世紀の画家の作にいたるまで、ふだんはなかなか目にするのができない多彩な作品を紹介しています。いずれも単に話の筋を追っただけではなく、作家の個性や時代の美術様式、流行をも反映した魅力あふれる

ものになっていきます。たくさんさんの挿絵のなかから、皆さんが物語のイメージが一番近いと思うものを探し出すのも、会場での楽しみになるかもしれません。

また、童話の内容そのものについて見て行くのも、興味深いのではないでしょう。うか。じつは、グリム童話は初版と後年の版を比べてみると、物語の筋が微妙に異なっていたり、残酷な表現が減らされたりと、内容がずいぶん変更されているのです。たとえば、「白雪姫」の最後の場面がどのようであったのか覚えていますか？ 現在の話では、白雪姫を毒殺しようとした継母のお妃を王子がこらしめる…という内容になっていますが、



「白雪姫」1900年 ハインリヒ・レフラー

これは後年に直された部分。初版では、お妃は継母ではなく実母であり、白雪姫と王子の結婚式で実母のお妃が真っ赤に焼けた鉄の靴を履いて踊り死ぬ…という設定になっていました。あまりにも残酷な表現のため、子どもたちへの教育的配慮から変更されたというわけです。ほかに、「シンデレラ(灰かぶり)」の初版に魔法は登場していないなど、いまの私たちが親しんでいる物語とは異なる部分が数多く見つかります。物語を追いながらこうした違いを発見することも、展覧会の楽しみといえるでしょう。

このほか本展では、今まで日本ではほとんど知られていなかった兄弟の実像についても、身の回り品や資料を交えて紹介します。当時の彼らの暮らしや社会状況をみてゆくことで、グリム童話誕生の背景についても深くご理解いただけることと思います。

今回出品される約

二六〇点は、すべてドイツのカッセルにあるグリム兄弟博物館の所蔵作品です。このなかには、

今年六月にユネスコ(国連教育科学機関)から「メモリー・オブ・ザ・ワールド(世界の記憶)」として認定されたグリム童話の書籍など大変貴重な資料も含まれています。なお、「世界の記憶」とは、失われやすい貴重な文献や記録資料などの遺産を世界規模で選定し、保存してゆこうという意図で一九九七年からユネスコが開始したプログラムのことです。今までに、ベートーヴェンの第九交響曲の草稿など一二〇件が登録されており、日本で登録されたものはありません。もちろん、北海道では初公開となります。

ぜひこの機会に、子どもから大人まで世代を超えて親しまれるグリム童話の世界をお楽しみください。



「カッセル グリム兄弟博物館」

—© カッセル グリム兄弟博物館—

2005年9月17日(土)
〜11月6日(日)

開館時間
午前9時30分〜午後5時
(入場は午後4時30分まで)

休館日

月曜日(ただし祝日の場合は開館し、翌火曜日が休館)

観覧料

一般10000(6000)円
高大生6000(4000)円
中学生以下無料

※()内は前売りおよび10名以上の団体料金
本展を当日料金でご観覧の方は、「木のこころと「かたち」もあわせてご覧いただけます

高橋博信コレクション受贈記念

「浮世絵美人画の魅力

国貞・国芳・英泉」展のご案内

北海道立近代美術館学芸員 苫名 直子

平成一六年度、当館に四九一点という膨大な点数の浮世絵が寄贈されました。これは高橋博信氏のコレクションで、江戸時代末期の浮世絵界を牽引した歌川国貞（一七八六―一八六四）、溪斎英泉（一七九一―一八四八）、歌川国芳（一七九七―一八六一）らの代表作を含むきわめて貴重なものです。

なかでも〈浄瑠璃づくし〉

は、文字を大胆にあしらった斬新なデザインが高く評価される国貞の代表作で、全十点の完全なセットは世界的で唯一のものといわれています。また同じく国貞の〈江戸名所百人美女〉は、広重作の〈名所江戸百景〉に匹敵する風俗画の大シリーズで、全百枚がそろっています。初刷りで、しかも国貞の高弟・豊原国周の旧蔵品であったこともその価値を高めています。ほかにも国貞の〈御好至者共行の内〉（五枚揃い）、〈夕立景〉をはじめとした色鮮やかな三枚続き作品、英泉の〈吉原要事廓の四季志〉（一二枚揃い）、国芳の〈山海愛度図会〉（七〇枚揃いの内十枚）など、多くの優品が含まれています。今回の展覧会ではこのコレクションから選りすぐった約二百点を紹介する予定です。

美人画に表現された粹

浮世絵には役者絵、風景画などさまざまなジャンルがありますが、このコレク

ションの特徴は、美人画に

焦点をあてているところです。これら美人画にはもちろん市井の女性たちも描かれています。その主役の多くは、やはり遊郭に生きる花魁（おいらん）など遊女たちといえるでしょう。

江戸時代後期に極められた「粹（いき）」―すなわち、あかぬけしていて色気があり、人情の表裏に通じているといった感覚は日本独特のものですが、実は「粹」の文化の主たる担い手として、まさにこの遊女たちだったのです。国貞、英泉、国芳らの浮世絵に表された彼女たちの姿は、それまでの美人画の理想化された典型美とは異なり、少し猫背で生活感に富み、どこか憂愁を含んだ独特な美しさをたた



歌川国貞 〈浄瑠璃づくし 梅川忠兵衛 新口村の段〉 1832年

えています。

見立ての豊かさ

作品の中には多く見立ての発想がみられ、タイトルに示された主題は、しばしば他のものになぞられて表されています。たとえば主題は源氏物語など古典文学の世界から採られていても、登場人物や情景はすべて同時代の風俗である場合がよくみられます。そして古典文学との関連は、画面の中にまるで謎解きのように機知的に仕掛けられているのです。

たとえば国貞の〈七小町 応需見立かよい〉では、江戸時代の娘さんが描かれています。タイトルから平安の歌人・小野小町にまつわる七つの物語のうち



歌川国貞 〈七小町 応需見立かよい〉 1820年

「通い小町」に因むものであるのが判ります。「通い小町」は、小町に恋する深草少将が、百夜通いをするうちに大雪のため命を落とすという悲話で、当作品のお稽古ごとに「通う」娘さんと「雪」の組み合わせはこれに由来しているわけです。ほかにも着物や帯の文様、人物の髪型やポーズ、小道具などに、未知のさまざまな見立てが含まれているのでしよう。それらを解き明かすのは簡単なことではありませんが、当時の人々の浮世絵の楽しみ方に近く手段であり、興味が尽きません。このたびの展覧会も、当時の人々の自在な見立てのウィットに触れていただく絶好の機会となるのでしよう。

MUSEUM CALENDAR

2005. 9 ~ 2006. 3

美術館の特別展覧会ご案内

※貸館の場合は、会員登録は使えません

	9	10	11	12	1	2	3
近代美術館	9/9~10/22 貸館 (アートオプスター・ ウォーズin Sapporo)		10/28 ~11/7 貸館 (全道展 60周年 記念展)	11/9~ 11/20 貸館 (新道展 50周年 記念展)	11/23 ~12/4 貸館 (道展 80周年 記念展)	12/14~1/29 A★MUZE★LAND 2006	
三岸好太郎	7/1~ 9/11 所蔵品展 (第II期) 画家・ 三岸好太郎 の生涯	9/17~10/26 特別展 生誕100年 三岸節子展		10/30~1/22 所蔵品展(第III期) ペルソナ(人間/仮面)-三岸好太郎の人物表現		1/27~3/21 特別展 札幌回顧-洋館のある街	
旭川	7/23~ 9/11 特別所蔵品展 時の偶像- 美術の中の 時間	9/17~11/6 グリム兄弟とグリム メルヒェンの世界		11/12~3/5 小野州一展			3/11~ 3/26 貸館 (北海道教職員 美術展)
函館	9/3~10/16 天使がいた時代 ヨーロッパ絵画展		10/22~12/18 北海道の詩歌と書の世界 書と北海道の写真と共に		1/7~ 1/15 貸館 (行動展)	1/21~2/19 前田政雄展 (前期)	2/23~3/21 前田政雄展 (後期)
帯広	9/4 柳宗悦の 民藝	9/16~11/7 デンマーク・夢を追いつづけた旅人 アンデルセン生誕200年展		11/12~12/25 クールベ美術館展 写実派の巨匠クールベ と周辺の画家たち		1/11~3/26 迷宮美術館ミステリー・ツアー	
釧路	8/27~10/13 美の匠たち-伝統と現代 (東京国立近代美術館 工芸館所蔵名品展)		10/22~12/7 巨匠たちの描く北の大地(ロマン) ぐるっと漫遊・北海道		12/17~3/12 ときめきの街にアートがひらく 芸術館ファンタジー		
札幌芸術の森	9/7~10/23 造形集団 海洋堂の軌跡		10/30~1/15 構造社- 昭和初期彫刻の鬼才たち展			1/21~3/26 所蔵品企画展	
札幌彫刻	8/27~10/10 第12回本郷新賞受賞記念 石井厚生彫刻展		10/15~3/20 平成17年度後期収蔵品展 鳥を抱く女シリーズ				

2005年度 移動美術館

北海道立近代美術館・帯広美術館コレクション

美へのいざない

◎ 9月16日(金)~20日(火)

鹿追町民ホール

TEL 01566-6-3300

◎ 9月23日(金)~27日(火)

紋別市立博物館

TEL 01582-3-4236

◎ 9月30日(金)~10月5日(水)

中標津町総合文化会館

TEL 0153-73-1131

入場無料

近代美術館

アミューズランドニ〇〇六 スイート・メモリーズ

一二月一四日(水)〜二月二九日(日)

人は誰しも、さまざまな記憶や思い出をもっています。
人生の折々に、目にした風景、出会った人、抱いた感情、味わった感覚…それらはその人がこの世に生きてきた証であり、これから生きていく糧ともいえるでしょう。
今回のアミューズランドは、そんな記憶や思い出をイメージの源泉とした、またそれをみる人に呼び起こすような作品を紹介します。
道内外で活躍する現代美術作家たち

による出品作品は、絵画、彫刻、映像からインスタレーションまでさまざま。どれもユニークな発想と新鮮なイメージをそなえたものばかりです。
子どもから大人までの幅広い層の人々が、それぞれの視点から作品を味わい、そこから得たイメージや思いを響きあわせ、人と人のきずなについて改めて考え、人生の一瞬一瞬をかけがえのないスイート・メモリーズとして愛しんでいけることを願っています。



八子直子《ドールズ》2005年

三岸好太郎美術館

札幌回顧―洋館のある街

一月二七日(金)〜三月二二日(火)

札幌は、厳しい北の風土の中にもエキゾチックな雰囲気のある都市として、多くの画家に愛され描かれてきました。明治以降、開拓使により本格的な街作りが始まった札幌は、日本の他の都市とは異なり異国的な趣がありました。郊外には原野が広がっていましたが、一步、街の中心部に入ると、日本離れた街路に洋館が建ち並んでいました。こうした街並みは画家たちを魅了し、彼らは好んで作品に取り上げています。札幌に生まれ育ち、この街を愛してやまなかった三岸好太郎は、二〇才で上



三岸好太郎《大通公園》1932年

京した後も札幌に戻るたびに街の風景を描きました。すでに取り壊しや建替えにより姿を消した建物も、当時の好太郎の眼を通して、『大通教会』(一九二八年頃)や、『大通公園』(一九三二年)などの作品に在りし日の姿が残されています。
本展では、三岸好太郎をはじめとする札幌ゆかりの画家の作品を通して、往時をしのばせる懐かしい札幌の街並みを紹介し

旭川美術館

小野 州一展 線描のコロリスト

一月二二日(土)〜三月五日(日)

小野州一(一九二七―二〇〇〇)は、千歳市生まれの油彩画家です。札幌第一中学校(現・札幌南高等学校)を卒業後、海軍の幹部養成学校に入ってから絵画や詩に関心をもち、少年時代から絵画や詩に没頭していた小野は、戦後、昆虫の標本を描く仕事やパッケージデザインの仕事を携わります。しかし、その後は画家を目指して上京し、独学で自由美術協会、全道展に出品する一方、難波田龍起らと北象会を結成し注目を



小野州一《静物》1996年 個人蔵

集めるようになりました。さらに、朝日秀作美術展や安井賞展などに出品を重ね、一九八〇年に北海道現代美術展で北海道立近代美術館賞、一九八六年には小学館美術賞、サンケイ児童出版文化賞美術賞を受賞しています。また、一九九五年にはそれまで暮らしていた神奈川県から北海道富良野市に移住し、亡くなるまでそこで制作活動を続けました。小野の作風は具象と抽象を往還していますが、いずれも清新な詩想がベースにあり、軽快なタッチと深みのある色彩が特色となっています。本展では、そうした彼の魅力を初期から晩年までの油彩画、素描、版画約一〇〇点により紹介し、画業の全貌を回顧します。

函館美術館

前田政雄展

前期 一月二二日(土)〜二月一九日(日)
後期 二月三日(木)〜三月二二日(火)

前田政雄(一九〇四―一九七四)は、函館に生まれ、平塚運一の知遇を得て上京、その門下で版画を学び、昭和初期から、国画会や日本版画協会を主な舞台に活躍しました。おおらかな構図による重厚で広がりのある風景木版画を数多く制作、日本の近代版画史に足跡を残しています。

北海道を離れたあとも、戦前、まだ道内では数少なかった版画家として北海道美術協会(道展)に出品、戦後に入っても、全道美術協会(全道展)の



『新日本百景』より
《小笠原母島》1939年

会員として参加、さらには北海道版画協会の結成に際して尽力するなど、北海道の美術界に貢献しました。また、函館に対しても、赤光社展に会員として出品するなど指導的な役割を果たし、まさに道南を代表する版画家と言えるでしょう。

本展では、当館でこれまで収集したコレクションを中心に、下絵など含めた約四〇〇点の作品を前後期に分けて展示、全国で初めて前田政雄の画業を本格的に回顧します。

帯広美術館

クールベ美術館展 写実派の巨匠クールベと 周辺の画家たち

十一月二(土)～二月二五(日)

一九世紀写実主義の巨匠ギュスターヴ・クールベ(一八一九―一八七七)は、フランス東部の小村オルナンに生まれ、彼は模写制作に取り組みながら絵画を学び、やがて祖国の風景や同時代の社会、人々の姿を見つめ、ありのままに描き表すことを目指



ギュスターヴ・クールベ
《城》1874年
この作品は、クールベの代表作の一つで、石造りの城が崖に建ち、海に面している。この作品は、クールベの創造の軌跡をこ

します。時代における真実を、自らにとっての自然を、堅牢なタッチによって描きだした作品で注目を集めるとともに、同時代のバルビゾン派との交流、協同作者や印象派をはじめ次世代にもたらした影響など、周辺との関わりにおいて、美術史上重要な位置を占める画家としても知られています。本展は、故郷にある画家の生家をそのまま使用したクールベ美術館の所蔵品によって構成されるものです。画家の初期から晩年に至る秀作、油彩、素描等に加え、協同アーティストの作品や彼を敬愛した作家の作品、貴重な遺品等の資料約七〇点により、クールベの創造の軌跡をこ

釧路芸術館

美の匠たち―伝統と現代 《東京国立近代美術館工芸館所蔵名品展》

八月二七(土)～一〇月一三(木)

一九七七年に開館した東京国立近代美術館工芸館は、近代の工芸・デザイン分野のすぐれた作品を専門に収蔵する、日本で唯一の美術館です。明治期から現代にいたる多様な工芸の展開を概観するコレクションは約二千点におよび、きわめて充実したものと



芹沢銈介《縮緬地型絵染着物
苗代川》1958年

なります。人間国宝や巨匠・名匠から気鋭の作家まで、伝統の技を磨いた逸品であり、現代の革新的な造形の探究あり、陶磁、染織、漆工、金工ほか多彩な分野の工芸家たちによる秀作の数々は、見る者の心を深くとらえることでしょう。近現代日本工芸を代表する作家の芸術に触れるまたとない機会です。ぜひご鑑賞ください。

芸術の森美術館

構造社と昭和初期彫刻 の鬼才たち展

一〇月三〇(日)～一月一五(日)

一九二六(大正一五)年に東京で結成された公募団体「構造社」は、彫刻と建築、商業美術との融合を目指すなど、新しい彫刻のあり方を模索するユニークな活動を繰り広げました。本展では、その最も特徴的であった結成後一〇年間の活動に焦点を当て、昭和初期に繰

り広げられた知られざる先進的動向を伝えます。また、小樽と北見にゆかりの深い中野五一は、一六回に及ぶ構造社展に毎回出品した数少ない彫刻家のひとりです。東京で活躍する一方、小樽での展覧会にも出品し、早い時期から中央画壇の息吹を北海道に伝えました。本展では中野の彫刻5点も出品します。



日名子実三《椅子に凭れる女》
大理石 1933年 個人蔵

札幌彫刻美術館

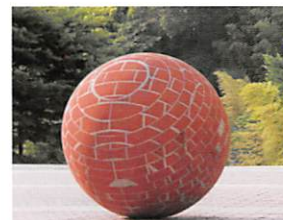
第12回本郷新賞受賞記念 石井厚生彫刻展

八月二七(土)～一〇月一〇(月)

札幌彫刻美術館は、日本全国に多数の野外彫刻を制作設置した故・本郷新(一九〇五―一九八〇)を記念して「本郷新賞」を創設しました。「本郷新賞」は、過去二年間に公共空間に設置された彫刻の中で、環境に調和した優秀な作品一点を選びます。今年実施された第一二回の選考対象

となったのは、二〇〇三年から二〇〇四年の二年間に日本全国の公共空間に制作設置された作品です。あらかじめ当館が委嘱した委員から推薦された一八点の候補作品をもとに、選考委員において厳正な審査が行われました。その結果、八王子市の多摩美術大学本部棟西側プラザに設置された石井厚生制作《時空・140―旅人―》が選ばれ

ました。多摩美術大学は、将来を展望して自然環境の豊かな広い敷地のある八王子に時代を担う新たな拠点として、施設の充実・拡大させています。長期計画のもと新校舎建設に伴い、構内に彫刻作品を随時配置していく事業を展開しています。今回受賞した《時空・140―旅人―》も、この一環で設置されました。第一二回の受賞を記念して「石井厚生彫刻展」を開催します。展覧会では、石やレンガを素材とした彫刻のほか、レンガによるインスタレーションをご紹介いたします。北海道ではじめて開催される石井厚生彫刻世界をお楽しみください。



《時空・140―旅人―》2002年

A・RE・KO・RE

information



近代美術館 入館者800万人に

1977年の開館以来の近代美術館の入館者が、7月8日に800万人を突破しました。「円空さん」展鑑賞のため訪れたという幸運な800万人目の入館者には、記念品などが贈呈されました。

近代美術館の夜間開館

7月から実施中の夜間開館も、9月を残すのみとなりました。

9月の夜間開館日は9、16、23、30日、開館時間は19時30分（入場は19時）までとなります。

秋の宵、静けさと芸術に浸ってみませんか。



ミュージアム・コンサートのご案内

三岸好太郎美術館では、三岸の作品<オーケストラ>にちなんでプロの音楽家によるコンサートと、音楽家を目指す若手によるミニ・リサイタルを展示室内で開催しています。

9月からの予定は次の通りです。

♪コンサート

第 66回 12月上旬

★ ★ ★ ★ ★

♪ミニ・リサイタル

第120回 9月10日(土)

第121回 11月5日(土)

第122回 1月21日(土)

芸術週間 Art Week

11月1日(火)から7日(月)の芸術週間には、各美術館においてミュージアム・コンサートや映像フェスティバル等多彩なアートイベントを開催します。期間中、近代美術館の“これくしょん・ぎゃらりい”、三岸好太郎美術館の入場料は無料になります。

ある日のオリエンテーション

“円空さん”のオリエンテーションで札幌市中途難失聴者協会の皆さんが“要約筆記”で学芸員のお話を聞きました(読みました)。



ARSコーナーにご注目

近代美術館の一階ホール奥のARSコーナーにおいて、既刊の「アルテピア」、美術館協会ボランティアの部内報「あんでな」を閲覧することができます。どうぞご利用下さい。

抽象彫刻の
味わいとは



佐野美佐子

一体これは…会場へ入ったとたん頭の中が？マークでいっぱいになった。先日まで開催されていた「イサム・ノグチ展」でのことだ。

どうやらノグチ氏の作品は環境彫刻というらしく、彫刻とその周囲を取り巻く環境および人間との関係性を追求した芸術とのこと。石彫やあかり、庭園、パーツ組立て式の作品。よくわからないまま進んで行き、すでに入館前に対面していた本展目玉のエナジー・ヴォイドへ。さすがに圧倒的存在感。だが、ちよつと遠い、残念!!

作品のエネルギーを感じきれないまま、今度はモエレ沼公園へ行ってみた。大物のピラミッド、山、噴水に混じって小さめのアートっぽい建物もある。近寄るとそれはトイレなのであった。おおー！これも環境彫刻か!?何だか段々楽しくなってきたぞ。多分、決まった鑑賞法などないのだと思う。

まずは素直にそこにあるものを楽しむことができれば良いのだ。と、ここまで来てようやくノグチ氏に教わったような気がした。

私がじっくり作品を味わうにはまだまだ修行が必要である。

新会員紹介

2005年3月～2005年7月
(敬称略)

—ご入会ありがとうございました—

3月	札幌市 興 梶 淳 子	札幌市 佐藤 静 男	札幌市 井上 千 春	札幌市 田代 美 喜
	札幌市 長谷川 千鶴子	札幌市 澤 崎 希 望	旭川市 井 荒 井 善 則 子	札幌市 後 藤 直 子
	札幌市 千 賀 京 子	5月	札幌市 小 松 陽 慶	7月
	札幌市 佐々木 小夜子	札幌市 反 保 智恵子	札幌市 栗沢町 小 古 館 典 英	札幌市 辨 野 和歌子
4月	札幌市 西 村 千 洋	苫小牧市 北 島 雅 司	札幌市 阿 久 木 佐知子	札幌市 野 呂 理枝子
	江別市 藤 井 正 治	札幌市 大 賀 みどり	旭川市 久 木 佐知子	札幌市 高 間 英 子
	旭川市 古 瀬 智 子	札幌市 大 渡 辺 傑 子	6月	札幌市 久 保 田 厚 枝子
	札幌市 前 田 龍 一	札幌市 中 村 照 尚 雄 人	北広島市 森 井 淑 子	札幌市 久 保 田 玉 枝子
	札幌市 姉 崎 富久子	札幌市 原 田 野 方 正 枝 慶 子	札幌市 横 井 榮 洋 子	苫小牧市 茂 呂 芳 子
	札幌市 佐 野 佐 智 子	札幌市 飯 野 城 上 千 恵 子	札幌市 金 倉 益 水 田 咲 晋 子	札幌市 伊 藤 中 早 苗
	札幌市 三 上 正 子	札幌市 村 古 屋 内 川 忠 恵 子	札幌市 美 新 鈴 木 千 尋 子	札幌市 山 三 嶋 口 尚 美 子
	札幌市 樋 口 朋 恭 子	札幌市 古 柄 大 川 忠 恵 子	江別市 鈴 鈴 諸 野 子	東京都 田 本 弘 子
	札幌市 鈴 木 美 和 子	札幌市 荒 木 忍 子	札幌市 野 辻 野 子	岩見沢市 綿 谷 純 子

NEWS NOON

五月二七日(金)の総会終了後、今年で二二回目を迎える「つどい」が開催され、一四名の会員が出席しました。

今年の「つどい2005」は三部で構成され、まず常設展「パリで見たみた夢II エコール・ド・パリコレクション」を鑑賞の後、講堂において、神田日勝記念館館長で小説家、小檜山博氏による「現代を考える」と題した講演が行われました。氏の豊かな人生経験に裏打ちされたお話は、ユーモアを含みながらも現代を鋭く切り取り、会場内に笑いと共感を呼び起こし、実りあるひとときとなりました。

続いて、「フランスワインの宵」が、近代美術館水上館長の乾杯の音頭で幕を開け、豊富に用意された料理とワインを囲んでの談笑が、瞬く間に会場を賑わせました。会場では小檜山氏のサイン会が行われ、列が途切れぬほどの盛況ぶりでした。岡部妙子さんによるピアノ伴奏も心地よく、和やかな雰囲気の中、今年の「つどい」は幕を下ろしました。



事務局だより

平成17年度 通常総会 開かれる

平成一七年度通常総会開催の報告をします。

去る五月二七日道立近代美術館講堂において総会が開かれ、提案議題について、主なものを報告します。

議案第一号の平成一六年度事業及び収支決算報告については原案どおり承認可決されました。

その中でも、昨年当会が法人設立以来二五周年を迎えたことから、記念会報特集号を発行し、会員に配布したことや、また昨年九月に、二階にあった売店を一階に移転をし新しい店作りを努めたこと。また、収支決算では、駐車場会計が入館者の増などにより、大幅な増収となり、昨年度売店会計から借入れた一七〇万円を繰入支出をしたこと、更に、一般会計に一七六万三千円を繰入支出をし、これにより三会計とも黒字決算となったことを説明。なお、会員数については、平成一七年三月末で法人・個人会員合計一、二九一人で前年比二二六人の減となっております。

平成一六年度の収支決算については「表1」のとおりです。

議案第二号の平成一七年度の事業計画、収支予算案については、原案どおり承認可決されました。

ここで、平成一七年度の事業計画及び予算について報告します。

年度事業は、次のように計画しています。

ただし、すでに事業が終了したものの、進行中のものもありますのでご了承ください。

一 道立近代美術館の事業活動に対するボランティア活動協力

常設展の解説、美術関係資料の整理・アミューズランド事業の協力のほか、芸術週間での事業及び三岸好太郎美術館での解説等ボランティア活動による協力等

二 美術展観覧者増員への協力
会員証利用による美術展観覧者の増員協力、観覧料の負担

三 美術館普及活動への協力
会報・ポスター配付・展覧会案内送付等の広報活動及び館外での美術館普及活動（「美術への誘い」事業）等

四 美術講座の実施
一般コースとボランティア希望者コースに分けて実施、但し、両

者共通で一〇講座を五月〜七月（終了済）。ボランティア希望者にはその後六講座を八月〜一〇月、さらに共通・専門養成研修を一〇月〜三月まで実施する。

五 「つとてい2005」の実施
通常総会終了後開催、講堂において、講演会「現代を考える」と題して神田日勝記念館館長小椋山博氏の講演と、一階ホールでワインパーティーが開かれ、一四四名が参加し、会員の交流と親睦を図った（終了済）。

六 「Junior Art Club」の実施
子供達を対象に、美術に対する関心を高める。（年四回）

七 美術研修旅行の企画・実施
(1) 第一〇回道内旅行
帯広方面の美術館めぐり
八月二八日〜二九日 一泊二日
(2) 第三回道外旅行
滋賀・京都方面の美術館めぐり
一月一五日〜一九日 四泊五日
(3) 第二四回海外旅行
フタペスト、ウィーン、プラハ、ドレスデン方面の美術館めぐり
第一班 八泊一〇日
一〇月三日〜一〇月二二日

第二班 八泊一〇日
一〇月二四日〜十一月二日

八 図録・絵はがき等の作成・販売

九 「美術館協力会賞」の贈呈
学生美術全道展への後援と最優秀作品へ賞の贈呈（副賞付き）

一〇 会員の拡大・PR
一 一七年度収支予算については、「表2」のとおりです。

議案第三号の会員の資格喪失（会費を二年分以上納入しないときは除名する）については、個人会員八〇名が資格喪失として原案どおり承認可決された。

議案第四号の役員の欠員補充人事について、現在安念副会長が病氣療養中のところ本人より副会長職及び理事辞任の申し出があったことから病状等を判断、事情やむを得ないものとして申出を受理、後任の副会長として、理事互選により山口節子理事が選任されたことの報告と安念理事の欠員補充として現ボランティア特別活動部部長の長峯慰子氏を充てること、なお、任期は前任者の残任期間とすることが原案どおり承認可決されました。

以上をもって全議題を終了したので閉会となった。

(表1) 平成16年度収支決算総括表(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

(単位:円)

収 入 の 部					支 出 の 部						
科 目	合 計	一般会計	特 別 会 計		内部取引 消 去	科 目	合 計	一般会計	特 別 会 計		内部取引 消 去
			売店会計	駐車場会計					売店会計	駐車場会計	
基本財産運用収入	1,804	1,804	0	0	0	事 業 費	50,766,260	6,034,863	32,428,969	12,302,428	0
会 費 収 入	11,239,000	11,239,000	0	0	0	管 理 費	5,731,191	5,731,191	0	0	0
事 業 収 入	53,125,482	1,354,000	34,365,269	17,406,213	0	特定預金支出	413,151	413,151	0	0	0
寄 付 金 収 入	250,000	250,000	0	0	0	繰入金支出	0	0	0	3,463,000	△3,463,000
繰入金収入	0	1,763,000	1,700,000	0	△3,463,000	予 備 費	0	0	0	0	0
特 別 収 入	5,304	5,304	0	0	0	当期支出合計	56,910,602	12,179,205	32,428,969	15,765,428	△3,463,000
雑 収 入	52,739	52,544	148	47	0	当期収支差額	7,763,727	2,486,447	3,636,448	1,640,832	0
当期収入合計	64,674,329	14,665,652	36,065,417	17,406,260	△3,463,000	次期繰越収支差額	32,016,391	5,176,485	24,730,831	2,109,075	0
前期繰越収支差額	24,252,664	2,690,038	21,094,383	468,243	0	支出合計(B)	88,926,993	17,355,690	57,159,800	17,874,503	△3,463,000
収入合計(B)	88,926,993	17,355,690	57,159,800	17,874,503	△3,463,000	予 算 額 (A)	70,553,000	15,853,000	47,096,000	11,067,000	△3,463,000
予 算 額 (A)	70,553,000	15,853,000	47,096,000	11,067,000	△3,463,000	予 算 額 (A)	70,553,000	15,853,000	47,096,000	11,067,000	△3,463,000
差 異 (A-B)	△18,373,993	△1,502,690	△10,063,800	△6,807,503	0	差 異 (A-B)	△18,373,993	△1,502,690	△10,063,800	△6,807,503	0

(表2) 平成17年度収支予算総括表(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

(単位:千円)

区 分	収 入 の 部					支 出 の 部				
	科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	備 考	科 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	備 考
一 般 会 計	基本財産運用収入	2	2	0	定期預金利息	事 業 費	6,661	7,463	△ 802	
	会 費 収 入	11,490	11,964	△ 474	法人、個人会員等年会費	美術館活動協力事業費	5,723	6,772	△ 1,049	VCD録音、録音機、録音機等
	事 業 収 入	1,370	1,170	200	美術講座受講料、つどい会費・海外旅行事務費等	美術講座等開催事業費	685	640	45	美術講座資料作成費・つどい経費等
	寄 付 金 収 入	10	10	0		美術館研修視察事業費	202	0	202	コーディネーター旅費等
	繰入金収入	0	0	0		美術優秀創作顕彰事業	51	51	0	協力会員の贈呈経費(商品券)
	特 別 収 入	6	6	0	美術振興基金利息	管 理 費	5,679	6,119	△ 440	運営管理費
	雑 収 入	11	11	0	普通預金利息	特定預金支出	0	157	△ 157	美術振興基金積立預金支出
						予 備 費	0	0	0	
	当期収入合計	12,889	13,163	△ 274		当期支出合計	12,340	13,739	△ 1,399	
前期繰越収支差額	5,176	2,690	2,486		次期繰越収支差額	5,725	2,114	3,611		
収入合計	18,065	15,853	2,212		合 計	18,065	15,853	2,212		
特 別 会 計	売上収入等	30,000	26,000	4,000	売上収入	事 業 費	29,438	25,049	4,389	仕入、賃金、施設賃借料等
	雑 収 入	2	2	0	預金利息	繰入金支出	0	0	0	
	当期収入合計	30,002	26,002	4,000		当期支出合計	29,438	25,049	4,389	
	前期繰越収支差額	24,730	21,094	3,636		次期繰越収支差額	25,294	22,047	3,247	
	収入合計	54,732	47,096	7,636		合 計	54,732	47,096	7,636	
駐 車 場	駐車料金収入	12,000	10,598	1,402	駐車場使用料収入	事 業 費	11,899	10,528	1,371	管理委託料、土地借上料等
	雑 収 入	1	1	0	預金利息	繰入金支出	0	0	0	
	当期収入合計	12,001	10,599	1,402		当期支出合計	11,899	10,528	1,371	
	前期繰越収支差額	2,109	468	1,641		次期繰越収支差額	2,211	539	1,672	
	収入合計	14,110	11,067	3,043		合 計	14,110	11,067	3,043	
總 合 計	86,907	74,016	12,891		總 合 計	86,907	74,016	12,891		

WELCOME

アルテピア会員募集

世界の art に出会える

美術館協力会愛称「アルテピア」

イタリア語でアルテは芸術をピアは架け橋を意味し、芸術の架け橋を意味する造語です。

平成8年に公募で選ばれた横浜市の為我井敏雄氏の作です。



美術館協力会シンボルマーク

ARTの頭文字Aに光が差し込んでいる木のイメージで、緑色は森を、青色は空を表しています。熊谷直勝氏によるデザインで、昭和52年4月から使用されています。

詳細は北海道美術館協力会(アルテピア)へ

札幌市中央区北2条西17丁目 TEL・FAX 011-644-4025

ホームページアドレス <http://www.artepia.or.jp>

ミュージアム・スクール 2005



ミニ・アトリエ

7月24日(日)から8月7日(日)までの間、近代美術館2階ロビーにおいて、ミュージアム・スクール2005の一環であるミニ・アトリエ「オヨメサンを作ろう!」が開催されました。

お子さんから大人まで大勢の方に参加いただき、独創的な作品が誕生しました。



近代美術館

ミュージアム・ショップ
オリジナル商品

近代美術館所蔵の岩橋英遠の「道産子追憶之巻」をモチーフにA4版の4種類(春・夏・秋・冬)のファイルが、7月12日に発売されました。1枚250円です。



「道産子追憶之巻」<秋>



編集だより

ミュージアムカレンダーを作っていて思うのは、目にする展覧会全てを見たくなくなってしまうことです。

今年は、こどもの頃に愛読したグリム兄弟とアンデルセンにちなんだ企画が目白押しです。

片や日本の伝統工芸などにも心が動きます。

季節は秋、新しい自分と芸術を探しに出かけませんか。(M)

紅葉の彩

滋賀・京都

美術館めぐり

滋賀・京都の美術館・博物館をめぐる内容充実。

国内美術研修の旅。11月15日(火)～11月19日(土)の4泊5日のコースです。

MIHO MUSEUM、滋賀県立近代美術館、京都国立近代美術館、京都国立博物館の鑑賞、長寿生の郷、宗陶苑の観光等、バラエティーに富んだ旅行を予定しています。

申込期間 9月20日～30日

申込先 JR北海道旅客鉄道(株)札幌支店

電話 011-231-8938